



## 2021年の抱負

# 政治・行政に対し政策提案

## 木材活用で循環型社会を実現

(一社) 木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会

原口博光 会長

新年を迎え謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は気候変動、地球温暖化が引き起す集中豪雨・自然災害の甚大化により、不幸にも亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。又、昨年1月後半に表面化した新型コロナウイルスの感染拡大によって、当該協議会がI W C Sと共催で取り組んだ国際的イベントが中止の止むなきに到りました。当会にとって初めてとなる後援名義の使用承認を頂いた、林野庁、国土交通省、経済産業省、環境省、全国森林組合連合会、東京都、奈良県の関係者の皆様には親切丁寧なご指導と多大なお手数をおかけいたしました。

日本産材100%の家具、木製サッシ、建具に挑戦して頂いた出展者各位におかれましては大変なお骨折りを頂きながら製品を出展する事無く、世に成果を問う事が出来ませんでした。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。3月31日を以って、コマ代金の全額返済が出来た事がせてもの救いでした。

2月12日に開催中止を発表してから、世界的パンデミックは急激にその猛威を振るい、終息の兆しが全く見えれておりません。原理・原則は人の移動を制限することです。経済は人が動く(移動) ことによって活性化します。

人の移動によって直接成立する・飲食業、観光業等々の生計は国がコロナ国債を発行して、その資金を直接注入することでその存在が維持出来ます。

原理・原則と多様性とか柔軟性は全く別次元の思考です。COVID-19は従来の慣行は通用しません。飲食業・旅館業を維持するのは全面的に国の責務、感染拡大防止は国民一人一人の責務です。マスコミ報道に於いては、若者の感染拡大の軽微化が流布され、高齢化した時の後遺症の怖さの発信が少ないように思われます。

第1に人命、第2に経済。コロナ禍に於いて、リモートワークの普及とB to Bの取引は面談を中止する事なく、「正しく恐れて」、「3密」に傾注し、マスク常時着用に加え、アルコール消毒、検温を各ステージの変化に於いても徹底する。大小関わりなく、飲食店のみならず、企業に於いても検温器の設置の義務化が必要です。密度の濃い商談を活性化し、今迄以上に経済活動を活発化する。自宅を出て、帰宅する迄、マスクを外さない(うがい以外)会食を伴う集会・商談は行っていない。

企業の融資に関する日本政府の政策である3年間の据置及び無金利を経済活動に生かす取り組みが企業に求めら

れています。今こそ、生産性を高める、ビックデータのAI化による、NC、ロボット化、IoTの導入です。GDPに占める個人消費60%の中大な落ち込みをカバーする具体的対策として、コロナ禍に於ける設備投資の補助金の1層の拡充が必要です。2021年は年始からCOVID-19が大きな課題となります。

さて、自然環境に大きな影響を及ぼす大気中の二酸化炭素削減の役割は森林大国・日本として、世界に先駆けて地球温暖化防止対策にシフトした政策の推進が求められます。日本の風土が産出する日本産材の出口戦略として、市場の需要開拓・木造建築物、住宅、家具、木製サッシ、建具等への木材ポイント、補助金、税制優遇策の拡充が必要です。入口戦略は森林整備の拡充です。供給と需要のバランスが相俟つて量・質・価格の安定が得られます。再生可能な自然環境を維持し、保全する環境の視点が望まれます。食文化は陸と海から産出されています。豊穡の海は健全な森林が維持しています。

日本の特徴である「海」を活かし「地球を救う海の森づくり」は森林整備と表裏一体の関係にあります。大人から子供まで幅広く木と海の総合文化を伝え、国民に木と海が環境に密接に関わ

っていることを身近に感じて知ってもらうことが重要です。

木材の保湿性、調湿など、特に木製サッシは断熱性能が高く、冷暖房のエネルギー損失を大巾に抑えることができます。木材は私達の生理や情緒に作用することを知ってもらいたいと思っております。

日本産材を加工する産業・木材加工機械、製材、合板、繊維板、LVL、集成材、住宅、家具、木製サッシ、建具等々が居住する「風土」に於いて製造した企業の申請による優遇税制の創設です。循環型社会の再生資源である日本産材を利活用し、「伐ったら植える」を繰返し光合成の最適化に貢献する企業として、「ESG」投資の対象となり、「SDGs」の活動に沿うことになり

ます。豊かな自然環境という富を残し、地球温暖化防止と国土強靱化に貢献すると同時に、自然災害を少しでも緩和する手段であり方法と考えます。特に青少年少女が木に接して、将来木に携わる職業（学者、建築家、家具・建具の職人）を目指す人材教育に繋がっていかば木の総合文化の伝承となります。循環型社会の原動力はモチベーションを発信する組織の存在が必要です。その原動力は時間の経過に伴う変化に

対峙し、変革する市場が「何を抛りど

ころに」、「何のために」存在するのかが、当該協議会は「利他」、「社会貢献」、「社会的善」の基に「志」ある企業、団体が集い政治、行政に対して、地に足の付いた政策提案をいたします。決して、政治団体ではありません。むしろ、対極に位置する国民、企業の視点で考察、思考する自由な組織です。

当該協議会では本年3月から、ホームページに於いて、会員企業・団体の紹介コーナーを設置します。そのコーナーでは会員からのメッセージを掲載します。末筆になりますが政府与党、各省庁、学会、産業界の関係各位におかれましては日頃のご指導、ご鞭撻に衷心より感謝申し上げます、併せて皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

日本産材の利用で低炭素社会の実現を

一般社団法人

木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会

会長 原口博光

副会長 服部順昭

事務局長 日高明広

監事 小浪博英

〒174-0071 東京都板橋区常盤台4-13・3

TEL 〇三(三五五〇)六三一

FAX 〇三(三五五〇)六三九

E-mail: iwcp@nissin-koosan.co.jp

URL: http://www.nissin-koosan.co.jp/iwcp/top

# 住宅用PC材で中大規模木造ができる！

# プレカットユーズ

プレカットの活用方法がよくわかります。  
最新情報をこの機会に、ぜひご購入を。

株式会社エルエルアイ出版

〒103-0004

東京都中央区東日本橋 2-27-4 靴下会館

電話 03-3868-0738

FAX 03-5809-3650

HP <http://www.lli-publishing.com/>



《大好評・連載》

木造住宅の構造計算を完全マスター！

(株)M's 構造設計代表取締役 構造設計一級建築士 佐藤実氏)

業界人辛口トーク (業界建築士)